自治会連合会との意見交換会を開催しました

９月９日、自治会連合会との意見交換会を開催しました。19 名の自治会連合会役員の皆様にご参加いただき、議員定数の在り方に関する調査特別委員会の調査結果を報告した後、市の課題となっている３つのテーマについて、活発な意見交換が行われました。

今回いただいた貴重なご意見・ご提案は、各委員会での調査・研究や市への政策提言など、今後の議会活動に生かしてまいります。

分科会テーマと内容



1 茨城県西部メディカルセンター

茨城県西部メディカルセンターが医師や看護師などの医療人材不足により病床をフル稼働できない状況が続いています。さらに、固定費の負担や、コロナ禍後の補助金終了なども重なり、毎年、市から億単位の財政支援が必要な厳しい経営状況が続いています。安定した医療を守るため、今後の在り方について意見を交換しました。



自治会連合会役員の皆様の声

○地域医療の要である病院で横領事件が発生したことは極めて遺憾であり、事件の背景にある問題点を徹底的に解明し、損害額の算定と回収を明確にすべきである。

○横領事件という不祥事によるイメージ悪化で、医師の離職や受診控えが起き、医療の質が低下することを最も危惧している。

2 学校跡地利活用



明野地区にある３つの小学校（大村・村田・鳥羽）の跡地について、現在も有効な活用の方向性が決まっておらず、大きな課題となっています。また、協和地区でも今後、義務教育学校の整備計画が進められており、同様の課題が想定されます。地域のにぎわいや活性化につながる利活用について意見を交換しました。

自治会連合会役員の皆様の声

○学校跡地利活用の事業者の選定に当っては、市で統一した選定基準を作る必要があるのではないか。

○地域のためではなく、事業者の利益のために学校跡地が利用されるのは納得できない。

3 公共交通

現在、本市運営の公共交通としてバス４路線及びデマンド交通システム「のり愛くん」が運行されており、市街地等の比較的人口密度の高い地域等をバスで結び、その他の地域は「のり愛くん」で対応している状況です。その中での課題として、バスの乗車率や未運行地域の問題、「のり愛くん」の利便性向上等について意見を交換しました。



自治会連合会役員の皆様の声

○高齢者にとってのり愛くんの予約は難しく、また予約がとりにくい。高齢者でも分かりやすく、簡単にできるよう改善してほしい。

○土日だけでもザ・ヒロサワ・シティ体育館と玉戸駅をつなぐバスを運行してほしい。

